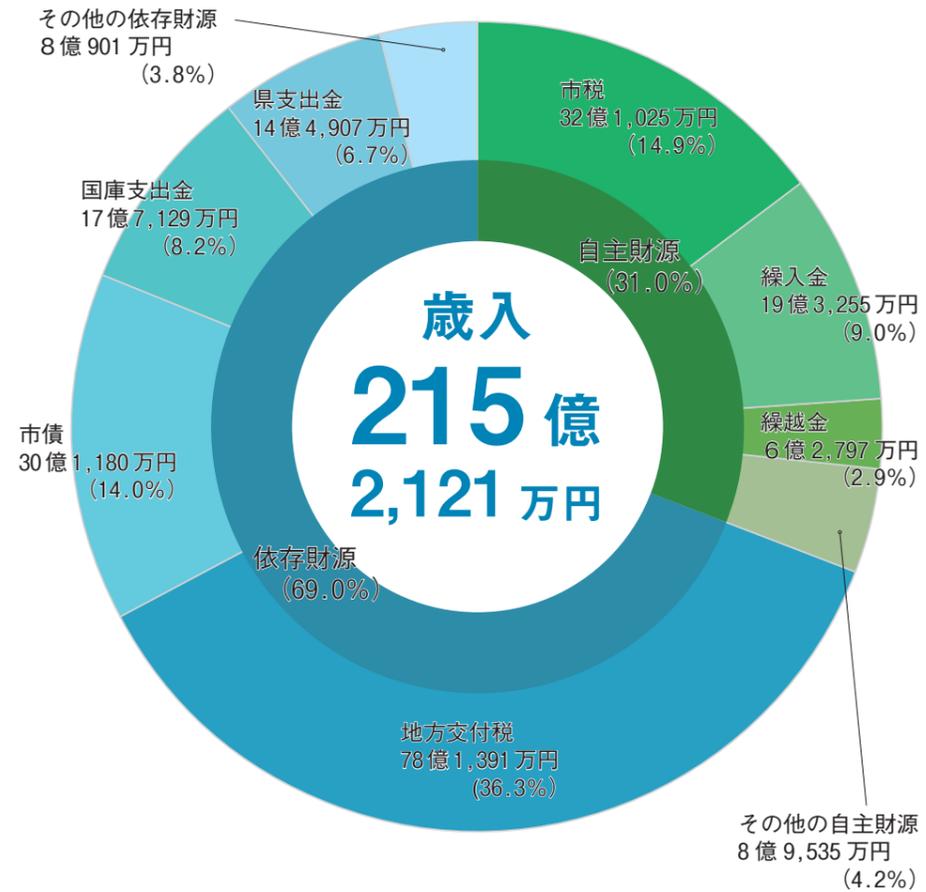


決算報告



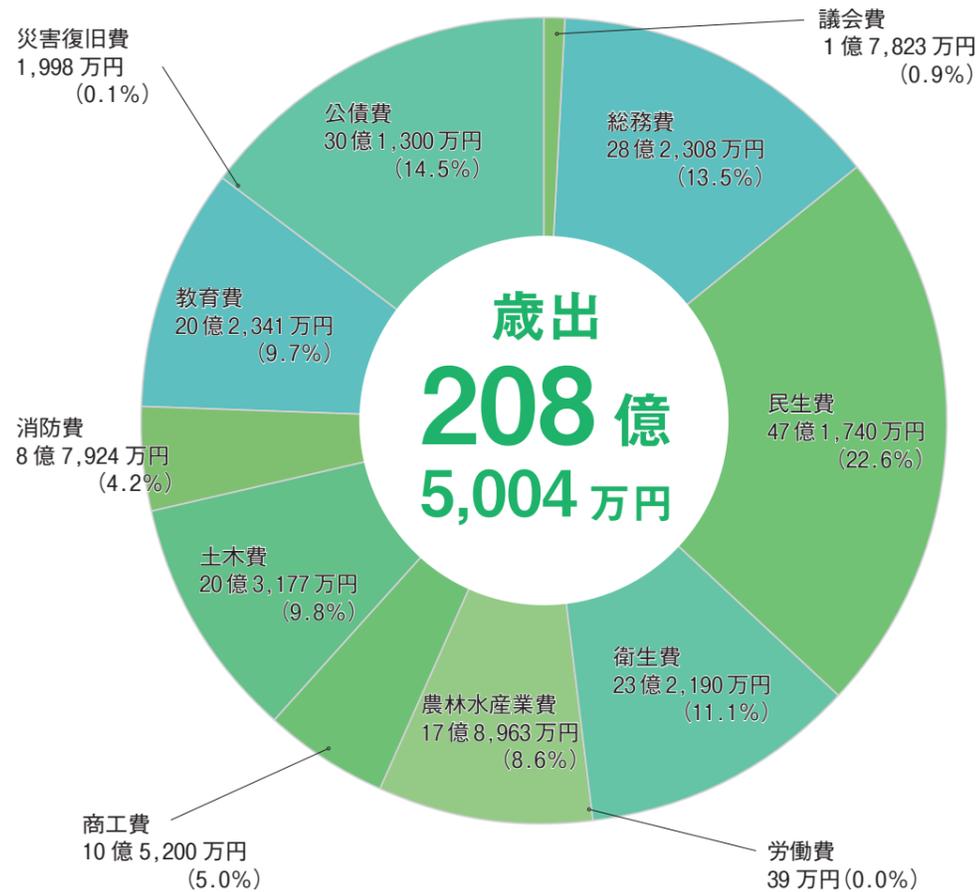
歳入

地方交付税は1・6ポイント減
自主財源は0・4ポイント減

元年度の一般会計の歳入(収入)は、215億2121万円でした。一番多くの割合を占めたのは、地方交付税の78億1391万円(36・3%)で、前年度より1億2538万円(対前年度比1・6%減)少なくなっています。次に多いのが、市税の32億1025万円(14・9%、対前年度比4・3%増)で、3番目が市債の30億1180万円(14・0%、対前年度比9・0%減)でした。歳入のうち、市が自主的に徴収できる自主財源は66億6612万円(31・0%)で、国や県などから交付される依存財源が144億8550万円(69・0%)となり、前年度に比べ自主財源比率が0・4ポイント少なくなりました。

特別会計・企業会計の決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
国民健康保険(事業勘定)	33億1,860	32億7,345	4,515	
国民健康保険(診療施設勘定)	1億8,905	1億6,106	2,800	
後期高齢者医療	2億8,165	2億8,160	5	
公共下水道事業	7億4,084	5億4,489	1億9,594	
農業集落排水事業	13億 213	5億9,415	7億 798	
浄化槽事業	1億4,150	5,596	8,554	
水道事業	収益的収支	5億6,771	5億2,060	4,711
	資本的収支	2億8,618	5億5,978	▲2億7,360
西根病院事業	収益的収支	9億8,574	8億8,732	9,842
	資本的収支	34億 143	34億7,806	▲7,663



歳出

小中学校冷房設備を設置
教育費が55・9%の増加

一般会計の歳出(支出)は、208億5004万円でした。一番多くの割合を占めたのは、民生費の47億1740万円(22・6%)で、子育て支援、障がい者や高齢者の福祉サービス、生活保護などのために使われました。次に多いのが、公債費の30億1300万円(14・5%)で、地方債元金償還などに使われました。

◆財政の健全度を表す指標

- 1 経常収支比率** 人件費や扶助費、公債費の義務的経費などに充てた一般財源の額を一般財源の総額で割ったものです。数値が低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示しています。
 - 2 財政力指数** 市税などの基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3カ年の平均値です。数値が高いほど財源に余裕があることを示しています。
 - 3 実質公債費比率** 地方債の償還金などを標準財政規模で割って得た数値の過去3カ年の平均値です。本市は前年度より1・4ポイント多い15・6%です。
 - 4 将来負担比率** 現在抱えている負債の大きさを標準財政規模で割ったものです。本市は前年度より23・7ポイント多い51・0%です。
 - 5 資金不足比率** 下水道など公営企業会計の資金不足を事業の規模と比較したものです。本市は資金不足の会計はありません。
- ※標準財政規模とは、市が標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入などに普通交付税を加算した額となります。財政の指標となる③から⑤までの比率を計算するための分母となる数字です。

9月4日から25日まで開かれた市議会第3回定例会で、令和元年度の一般会計など9会計の決算が認定されました。ここでは、決算の内容を財政の健全度を示す各種指標と併せて紹介いたします(決算額は千円未満を、割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります)。

◆問い合わせ先 企画財政課財政係(☎内線1205)
市ウェブサイトで決算書や決算事項別明細書などを公開しています。
詳しい内容はそちらを確認してください。